

木造橋ができました

縁の下の力持ち・・・橋を支えるカラマツ材



上：完成した木造橋「谷川橋」 下：谷川橋を下から見たところ。三本のカラマツ集製材が橋を支えています。

平成二十年七月、佐久市入沢地籍の林道田口十石峠線に、木造橋梁が完成しました。

多くの橋梁では桁部分に鉄やコンクリートを使用しますが、本橋は桁部分にカラマツ集製材を使用しています。

一見普通のコンクリート橋に見えますが、橋の下を覗くと六十センチ×八十五センチの集製材を三本使用し、コンクリートの床版を力強く支えています。この橋は二十五トンの大型車まで通行可能です。

主な仕様は

- ・ 橋名：谷川橋（やがわはし）
- ・ 橋の長さ：十四メートル
- ・ 道の幅：五メートル
- ・ 主桁材料：信州カラマツ集製材

今年度末までには、長野県の林道で十二基の木造橋梁が完成し、木材の運搬はもとより観光に利用されています。

この林道田口十石峠線は、佐久市雨川ダムから佐久穂町の古谷ダムまでを結ぶ基幹林道として計画されています。これからはこの幹（基幹林道）から枝のように作業道を開設し、間伐などの森林整備や、木材の搬出でのコストの削減が期待できます。